

2023-24 年度RI 会長 ゴードンR マッキガリー (スコットランド・サウス・クイーンズフェリー・RC) 第2820地区ガバナー大久保博之 (水戸RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2023. 10. 26
第 2073 回例会

会長 鈴木崇久 会長外 島田洋次 幹事 照沼明美

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



11 月はロータリー財団月間です

世界インターアクト週間 11/5～11/11

会長挨拶 鈴木崇久 会長



会員の皆様こんにちは。そして、地域ボランティア表彰並びに優良従業員表彰の受賞者の皆様ようこそ日立港ロータリークラブへ。

日立港ロータリークラブは、地域に根差した奉仕活動を行うことを目的とした奉仕団体です。

私は会長の鈴木崇久と申します。

昨日の雷を伴う不安定な天気とは打って変わって、本日は受賞者の皆様の表彰を祝うかのような晴天に恵まれました。本日、受賞者の皆様の表彰することが出来ることを大変光栄に思います。

10月21日(土)、大甕駅前通りで行われていた子供達のハロウィンの催しを見ました。小学生や幼稚園児たちが、ボランティアの皆様に見守られながら、楽しそうに歩いている姿を見てこちらもほっこりとした幸せな気分になりました。

今年は、日立港祭りが通常通り開催されました。

大みか祭りも4年ぶりに開催されました。そしてハロウィンの催しも開催されました。少しずつではありますが新型コロナ以前の日常生活が戻って来ていることを感じております。催しを開催するにあたり参加されたボランティアの皆様感謝の気持ちでいっぱいです。

こうした地域の活性化のためには、地域の催しに協賛していただいている企業は元気であることが必要不可欠です。その一端を担っているのがその企業の従業員の皆様です。その代表として受賞者の皆様を表彰できることをうれしく思っています。以上で、会長挨拶とします。

本日はよろしくお祈りいたします。

例会報告

開会点鐘 鈴木崇久 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 宮田秀昇 親睦活動委員長

地域ボランティア受賞者 4名
優良従業員受賞者 1名
茨城キリスト教大学名誉教授 瀧田 薫様
ようこそいらっしやいました。

出席報告 五束美奈 SAA

会員数	出席数	出席率
34	23	71.88%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
3(本日1名出席)	9	100.0%

本日の食事メニュー：弁当

幹事報告 照沼明美 幹事

【受信書簡・メール】

- ・2023-24 年度第 2820 地区ライラセミナーのご案内
- ・県北ローターアクトクラブについて
- ・広報誌「スポ・レクひたち」の送付

本日のプログラム

地域ボランティア並びに優良従業員表彰

桑名智行職業奉仕委員長

2023～2024 年度「地域ボランティア並びに優良従業員表彰」が行われ、地域ボランティア4名と優良従業員1名の方々が受賞されました。出席された5名の受賞者には、鈴木崇久会長からひとり一人に

表彰状と記念品が授与されました。また、受賞者を代表して、大みか学区コミュニティ推進会の小室泰雄様からご挨拶をいただきました。卓話は茨城キリスト教大学名誉教授の瀧田薫様からお話をいただき、最後に全員で記念撮影をして、表彰式は終了しました。



●●● 地域ボランティア受賞者 ●●●
大みか学区コミュニティ推進会 小室 泰雄 様



不法投棄監視と言う「人の嫌がる仕事」に率先して手をあげ、不法投棄を早期に発見し又監視等を行う事により、廃棄物の適正処理の推進に尽力している。

大みか駅前清掃活動は、毎月第1土曜日早朝から約1.5時間半のボランティア活動に参加。大みか2丁目西交差点~大みか工場入口迄約1.5km「大みか駅前街路樹を守る会」班長として、主に街路樹周りの除草、伐採を実施に貢献している。

大みか学区コミュニティ推進会 大内 雅美 様



17年間、部長として築き上げた青少年育成部での行事(門松づくり、大みか元気っ子宿泊体験学習等)は今でも継続している。以前より、コミュニティ・町内会行事に積極的に加わり、地域の様々な問題点(特に危険個所の修繕提言等)問題解決に向けコミ推及び日立市等関連部署への働きかを実施し改善を図っている。最近、衰退傾向の町内会存続のため自ら世話役を務め奮闘・努力中である。

久慈学区コミュニティ推進会 宇佐美賢一 様



久慈学区コミュニティ推進会の環境整備部長として、清掃活動や花壇整備に努め、また防犯パトロールや下校時の見守り、不法投棄監視等の活動も行い、地域の安全や環境整備に尽力している。



6年間近く防災活動に取り組み地域の防災力強化に努めてきた。また、防災士資格の取得以外に最近では茨城県・水戸地方気象台共催の防災研修会及び県北生涯学習センター主催の防災関連の講習会(田切先生の地学講座、ICT 活用による地域防災)を受講して自身のレベルアップに努めており、これらの経験を生かして自主防災部会にて防災情報を提供している。

●●● 優良従業員受賞者 ●●●

アイ・イー・シー(株)

黒羽 洋司 様



入社以来、ソフト開発業務に従事し、優れた見識と熱意を持って誠実に職務を果たし、社業の発展に尽力してきた。その誠実で責任感の強い勤務態度は、お客様から厚い信頼と高い評価を得ており、他の社員の模範的存在です。入社してから39年間、顕著な功績を残している。

ご挨拶

小室泰雄 様



先ほどは立派な表彰状をいただきありがとうございます。これも良い仲間にも恵まれ、支えられ今があると思っています。最近は徐々に気力、体力の衰えを感じておりますが、今回の受賞は私たちへの激励だと思ひ、これからも微力ながら貢献したいと思っております。これからもよろしく願いいたします。簡単ではありますが受賞者を代表してお礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



外部卓話

瀧田 薫様

『米大統領選挙とパレスチナ問題』



卓話のために用意した4つの資料の内容は以下のとおりですが、一部補足しています。

投票行動分析の専門家の間では、次の大統領選挙はバイデン氏とトランプ氏の再戦となるとの見方が有力であり、特にミシガン州とペンシルベニア州(自動車労組=UAW が強力でもととは民主党の地盤)が大統領選挙の行方を左右するとされている。前々回選挙ではトランプ氏がこの両州を制して大統領に当選し、前回選挙ではバイデン氏がこの両州を奪還して大統領となった。今回の選挙でも、両州はいわゆるスウィングステート(選挙ごとに投票先が揺れる)になる可能性を秘めている。今回はこの両州において、UAW が待遇改善要求のための大規模ストライキを打っているため、バイデン氏もトランプ氏も急ぎ両州に入り、それぞれ労組への連帯を呼びかけるなど、まるで大統領選挙前哨戦のような状況になっている。バイデン氏の場合は、中国や欧州製のEV(電気自動車)が台頭しつつある中で、米自動車製造業のEVへ

のシフトを巨額補助金で後押ししてきた経緯があり、下手をすれば、身内とも言える労組の支持を失う恐れがある。UAW の側には、EV化は米自動車製造業の雇用減に繋がるとの不安があり、素直に政府からの企業に対する補助金を喜ばないのである。バイデン氏は現職大統領として、対中国、対欧州を意識した米自動車産業へのこ入れと労組への気配りとの間でジレンマに悩むこととなった。当然、共和党やトランプ氏にとっては、バイデン氏攻撃のチャンスである。こうした波乱含みの選挙戦、その前哨戦がすでに始まっている。

第二の資料は「2020 年米大統領選挙における、バイデン氏とトランプ氏の政策比較一覧」である。今回の選挙で、この比較表がどう変化するか、どの政策が消え、どういった政策が新たに加わるか、そうした検証をするための基礎資料である。

第三の資料は、ハマスのによるイスラエルに対するテロ攻撃を受けて、急遽作った「パレスチナ バイデン大統領演説と中村哲氏のアフガニスタン」である。

資料の内容は、バイデン氏がハマスのテロを契機として、米国民に向けて危機の現在と対応策そしてイスラエルに対する共感の大切さを語った 10 月 25 日付の演説である。講師が特に注目したのは、演説において、バイデン氏が米国の過去の失敗について率直に吐露し、イスラエルがその轍を踏むことに重大な懸念を表明したことである。

演説冒頭、バイデン氏は、米国がウクライナ戦争、パレスチナ紛争、そして対中国覇権競争、つまり同時三正面に戦争や紛争を抱えた厳しい状況にあることを指摘した。米国の本音は中国との対抗に全力を傾注したい。しかし、ロシアのウクライナ侵攻という想定外の事態に直面して、それだけでも重荷なのに、さらに中東で戦争が勃発しようとしている。米国が深刻な危機あることを国民に説明し、今後の対応について所信を表明したのである。

対策の第一は、財政負担の大きさについて、国民にその必要性を説くことだった。

第二は、遠い外国における戦争や紛争を軽視し無視すれば、米国や世界の脅威は増大し続けると指摘することだった。

第三は、イスラエルに対する支援と共感の大切さを説き、他方、イスラエル首相に対し、できるだけガザの民間人を保護する行動を取ることの重要性を、2001 年 9 月 11 日米国で起きた同時テロの経験を引いて指摘することだった。

そもそも、アメリカの失敗とは何か。バイデン氏は、2001 年アルカイダのテロを経験した米国人は、ハマスの奇襲テロでイスラエル国民が感じている「衝撃、恐怖、怒り、復讐心」を理解しているとし、イスラエルへの深い共感を表明した。

その一方で、イスラエル国民に向けて、アルカイダのテロの時の米国民を例に引き、「あの時のように怒りに我を忘れてはならない」と強調した。

9.11 以降の米国は復讐心と好戦的ナショナリズムで燃え上がった。ジョージ W・ブッシュ大統領は 2003 年、イラクのサダム・フセイン政権がアルカイダを支援し大量破壊兵器を保有しているとして、対イラク戦争を宣言した。国連武器視察団はイラクに大量破壊兵器が存在しないと公式に発表し、英国を除く仏、独、カナダなどの友邦はもちろん、ホワイトハウス国家安全保障会議 (NSC) からもイラク情勢を見誤っていることへの懸念の声が出ていた。にもかかわらず、ネオコン (新保守主義者) の声に圧倒されてイラク戦争は強行され、米国はイラク戦争で 8000 人の死者を出した。

イラクの独裁者フセインは捕らえられ処刑されたが、米国は戦後イラクの秩序の回復に失敗した。

結局、オバマ政権が 2011 年にイラク駐屯軍を撤収させたが、イラク国内は無政府状態となり、複数の武装勢力による内乱が勃発、その後さらに暴力的で破壊的な過激派テロ組織 ISIS (武装イスラム勢力・イスラム国) が出現する契機となった。

軍事専門家は、イスラエル軍がガザを徹底的に破壊し、ハマスを殲滅できたとしても、アルカイダの時の米国政府のように、その後の見通し (実行可能な安全保障、統治戦略) がないままであれば、自国の政治的混乱 (膨大な戦傷者、莫大な戦費、治安維持のために割かれる労働力、その他への批判、責任追及) を呼び込み、さらにより手強くより過激な敵 (パレスチナの一般市民の復讐心から生まれる) を作る結果を招く。そうなれば、イスラエルはハマスの仕掛けた罠 (戦闘に敗れても戦争に勝つ戦略) に陥ることになると分析している。

心に衝撃をうけ、恐怖や怒りに我を忘れている人間にどう寄り添うか、心理学の専門家であれば、バイデン氏が強調した「共感すること」が唯一最善の対応であると言うだろう。EU 各国の首脳も一致して、「イスラエルへの共感」という言葉を選択している。果たしてイスラエル首相ネタニヤフ氏は、ハマスをそしてガザにどう対応するだろうか。

イスラエルの極右勢力を代表して首相になっただけに、国内外から噴出するハマスの復讐心、テロリストに襲われる恐怖心を抑え込んで、ガザへの武力侵攻を断念することは難しい。そうすれば、彼は政権から引きずり下ろされるだろう。だが、武力でガザを侵攻すれば、その結果はイスラエルにとって惨憺たるものとなるだろう。

近現代史上、イスラエルとパレスチナが 2 国家共存を目指して交渉し、平和協定を結ぶことに合意したことが一度だけあった。パレスチナのアラファト議長とイスラエルのラビン首相が目指したオスロ合意（1993 年 9 月 13 日）である。その中身は、イスラエルがヨルダン川西岸とガザ地区から撤退し、パレスチナが暫定的な自治を行った上で独立するというものであった。アラファト氏とラビン氏は合意の翌年、ノーベル平和賞を受賞したが、イスラエルとパレスチナに恒久的平和は訪れなかった。オスロ合意では、いわゆる暫定期間が 1999 年 5 月 4 日までに設定され、その期間内に、エレサレムやパレスチナ難民の扱い、国境の線引きなど未解決の問題に関する法的根拠を備えた恒久的な協定に移行するはずだった。

しかし、期限の 1999 年までに何も成立しなかった。原因は、イスラエルとパレスチナ両側の過激派による合意に対する執拗な攻撃さらに両者間のテロの応酬にあった。オスロ合意から 2 年後、ラビン首相は平和集会でスピーチを終えた後、和平交渉に反対するイスラエル人学生に暗殺された。

オスロ合意は幻に終わり、イスラエルとパレスチナによる暴力の連鎖は現在にいたるまで止むことなく続いている。

第四の資料 中村哲氏とアフガニスタン

昔、ペシャワール会の中村哲氏が茨城キリスト教学園講堂で講演されたことがある。想像していたよりも小柄な印象であったが、講堂に詰めかけた満員の聴衆（1 千名以上？）の前で、壇上に上る

と、静かに落ち着いた語り口で、アフガニスタンという土地の荒々しさ、そこに住む人々の貧しさとそれに耐えている剛直さ、ペシャワール会の活動が直面している諸々の困難、中村氏が目指す理想など、淡々と順序立てて述べられた。中村氏がその一身を賭して目指した理想は、以下の彼自身の言葉に凝縮されているのではなかろうか。

○銃は何も生まない。

○アフガニスタンの人々の自立を支援する。

○宗教、理解することが負の連鎖を止める。

○望みは平穏な生活。

○わたし達に出来ることは戦争以上の忍耐が必要。

○日本・安全保障法成立に寄せて 「日本が 70 年かけて築いた信頼が崩れる」。

○ペシャワール会のアフガン用水建設 「天、われとともにあり」

中村さんが現地の人々やペシャワール会の仲間と用水路を掘っているとき、米軍の爆撃機が上空を飛んでいった。生と死が交錯する、それが中村さんの過ごしたアフガニスタンの日常であった。今は、ウクライナやパレスチナの日常である。

中村 哲（なかむら てつ）氏



出典ペシャワール会

1946 年 9 月 15 日 - 2019 年 12 月 4 日

ペシャワール会現地代表、医師

戦乱と干ばつに苦しむアフガニスタンで、36 年間にわたり人道支援を続けた中村哲さん。

医師という立場を超えて井戸の掘削や用水路の建設にも取り組み、多くの命を救った。中村さんは昭和 21 年福岡県生まれ。九州大学医学部を卒業し精神科医に。昭和 59 年パキスタン北部ペシャワールの病院に赴任、医療支援に取り組む。

アフガニスタンを大干ばつが襲って以降は水資源の確保にも取り組み 1600 本以上の井戸を掘削。さらに 25 キロ以上にもおよぶ用水路も建設し砂

漠化した大地に緑を蘇らせた。令和元年、何者かに銃撃され死亡。貧困という荒野を緑豊かな大地に変えることを夢見た 73 年の生涯だった。

出典 NHK アーカイブス

今回、お招きいただきありがとうございました。卓話終了後頂戴しましたご批判、ご叱正につきましては、衷心よりお詫びを申し上げます。

末筆ながら、クラブのますますのご発展と皆様ならびにご家族のご健勝をこころより祈念いたします。

今週の会場の花
" ピンク色のカーネーション "

花言葉：感謝



閉会点鐘 鈴木崇久 会長

第 54 回日立ふれあい運動会開催

鈴木崇久会長

10 月 21 日（土）9 時 10 分から、第 54 回日立市ふれあい運動会の開会式に出席しました。

当日は穏やかな天候の中、4 年ぶりの日立市ふれあい運動会が池の川さくらアリーナにおいて開催されました。実行委員長の小川春樹市長の挨拶、来賓の皆様のあいさつがあり、準備運動を行った後、和やかな雰囲気の中、競技が行われました。



その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆ 日帰り家族親睦会 茨城県南方面

11 月 19 日（日）

◆ クリスマス例会親睦ゴルフコンペ

12 月 21 日（木）9：48 スタート

グランドスラムカントリークラブ 西コース

ご出欠の申込みは、例会場受付または
電話・メールにて事務局まで！！

今後のスケジュールのご案内

11 月 9 日（木）12:30 美かの

「会員卓話 松橋好徳さん」

「私と RC 水江俊介さん」

11 月 16 日（木）12:30 美かの

「会員卓話 平元淳治さん」

「私と RC 桑名智行さん」

11 月 23 日（木）休会（勤労感謝の日）

サロン美かの

今回の例会は、地域ボランティア表彰と会員企業の優良従業員表彰でした。地域で住み良い町づくりに日々貢献されている 4 名の方々の地域に対する愛情、住民のより良い暮らしに尽力されている活動に対し、心からの敬意とともに感謝を申し上げます。

今後ともお元気で活躍されることをお祈りしております。優良従業員表彰は 1 名でしたが、お仕事に対する真摯なお姿に敬意を表します。さて、私たち RC には何ができるでしょうか。今一度原点に立ち返って考えてみたいと思います。

後半の卓話は 2 年越しのラブコールがかなって、瀧田薫先生の専門的でありながらも分かり易いお話で、世界に目を向けることができました。特にバイデン氏とトランプ氏における問題の対処法の比較が大変参考になりました。さらに世界平和の実現は容易なことではないことを痛感させられました。私たちは何ができるのでしょうか。今すぐに解決できる方法は見当たりません。しかし平和の種を小さいながらも播き続けることはできるのではないのでしょうか。青少年交換、米山奨学生の援助 IAC、RAC の支援など足元のことを地道に行っていくことが遠くても近い道なのかなと感じています。（すき）

発行：日立港ロータリークラブ（翌例会日）

編集：会報・雑誌委員会

山口憲生 鋤柄純忠 桑名智行

笹尾 光 中野紀子（事務局）

URL：<http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail：info@hitachi-ko-rc.com